

肺組織における自家蛍光の研究

1. 研究の対象

1995年4月～2018年6月に当院で防衛医科大学校病院において、気管支鏡検査受けられた方

2. 研究目的・方法

肺癌やサルコイドーシス等の肺疾患を診断するために、気管支鏡検査が行われていますが、気管支鏡検査では発見困難な症例が存在します。蛍光気管支鏡検査は、正常部と病変部の自家蛍光の差を利用した画期的検査であり、臨床的有用性が報告されています。しかし、未だに、自家蛍光の本質に関する研究はまだ不十分であり、今後さらなる進歩が待たれています。そこで、気管支鏡検査時に施行された生検組織を蛍光顕微鏡により、病変部の自家蛍光を検討する基礎研究を計画しました。生検組織で得られた自家蛍光の知見は、臨床で用いられる蛍光気管支鏡所見の改善に結びつくと思われれます。研究検体は、防衛医科大学校病院において、気管支鏡検査時に施行された生検を使用します。これらはすべて診療上の必要性から採取され、臨床検査に供された検体を匿名化し、収集したものです。

なお、各気管支生検に関する臨床情報（患者情報；年齢、性別、疾患名など）についても、匿名化したのち、防衛医科大学校 内科講座(感染症呼吸器内科)医局においてPC上のデータについては情報保全の観点から厳重に管理します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料は、1995年4月～2018年6月に防衛医科大学校病院で臨床検査の一環として行われられた経気管支鏡的採取した組織検体で、研究に用いる情報は、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

連絡先 研究実施者所属・氏名、住所、電話番号、メールアドレス等

研究責任者 防衛医科大学校内科学(感染症・呼吸器)の研究室に) 林伸好

住所 〒359-0042 埼玉県所沢市並木3-2-6号館4階 感染症・呼吸器内科学
研究室

電話番号 04-2995-1511 (内線 2544)

メールアドレス n-hayashi@ndmc.ac.jp